

「東日本大震災の被害に学び、高槻で備える」

東日本大震災では津波の被害に注目が集まるが、揺れによる家屋倒壊、斜面崩壊、地盤液化化といった被害も各地で発生していて、その被害はきわめて大きい。「海に面していないから関係ない」では済まされない被害実態を紹介し、その特徴や発生メカニズムなどを踏まえた上で、高槻ではどのような備えが重要になるかを考えます。

平成24年

1月22日(日)

14時～16時(開場・受付 13時30分)

関西大学高槻ミュージズキャンパス

ミュージズホール(5階)にて開催

(高槻市白梅町7-1)

★当会場には駐車場がございませんので、車やバイクでのご来場は
ご遠慮願います。公共交通機関をご利用下さい。

定員500名

入場無料

※手話通訳・要約筆記有り

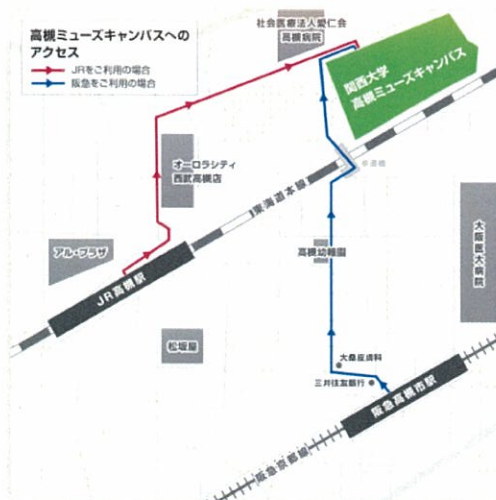
防災講演会

主催：高槻市、関西大学 後援：高槻市火災予防協会、高槻市赤十字奉仕団、高槻商工会議所女性会

<講師紹介> 関西大学社会安全学部

はやし よしなり
林 能成 准教授

1968年東京都三鷹市出身。北海道大学理学部地球物理学科卒業後、JR 東海に入社。同社では東海道新幹線の自然災害対策に関する業務、中でもその当時、世界最先端の地震情報システムであった地震動早期検知警報システム(ユレダス)の運用に従事。その後、96年から東京大学地震研究所で大学院生として群発地震とマグマ貫入の関係についての研究を行い、同大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻を修了して博士(理学)を取得。独立行政法人防災科学技術研究所・特別研究員としてリアルタイム地震防災の研究に2年間従事したのち、2003年に名古屋大学災害対策室の助手に採用され、防災心理学者らとの文理融合型防災研究に着手。08年静岡大学防災総合センター准教授となり、地域と連携した防災教育と研究を経験した後、11年から関西大学社会安全学部准教授。専門は防災地震学。博士(理学)。



《問合せ先》

高槻市総務部総務室危機管理課

TEL : 072-674-7314

FAX : 072-675-8184

kikikan@city.takatsuki.osaka.jp